

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【公開番号】特開 2006-270960 (P2006-270960A)
 【公開日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-039
 【出願番号】特願 2006-78913 (P2006-78913)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/91 N

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 3 月 23 日 (2009.3.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

インテリジェントな識別および索引付けで番組をレンダリングする方法であって、
 少なくともテレビシンの開始部を含み前記テレビシンの特徴の識別を参照する少なくとも第 1 の部分を含むタグと関連付けられたシーンを少なくとも 1 つ含む番組を受信すること、

前記第 1 の部分が暗号化されているときは前記番組を処理して前記第 1 の部分を解読し、
 前記特徴の識別にアクセスすること、

前記番組を処理して前記シーンの置換または変更が適切か否かを判定すること、および、

前記シーンの置換または変更が適切と判定すると、少なくとも 1 つの適切な置換用のセグメントを識別して取得し、前記シーンを前記少なくとも 1 つの適切な置換用のセグメントで置換または変更すること

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】
 前記タグは前記番組とともに受信されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】
 前記タグは、最初に前記番組内の特徴を分析し、その後、前記特徴を番組の前に受信したパターンにマッチさせることによって計算されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】
 前記シーンはコマーシャルであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】
 前記タグは、前記コマーシャルが 1 つまたは複数の代わりの番組セグメントで置換できる時期と方法を少なくとも規定するライセンスに対応したライセンス情報を含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記番組を処理して前記コマーシャルの置換が適切か否かを判定することは、前記コマーシャルの一部のみの置換が適切か否かを判定することを含むことを特徴とする、請求項4または5に記載の方法。

【請求項7】

前記コマーシャルの置換が適切か否かを判定すること、および少なくとも1つの適切な置換用のセグメントを識別して取得することは、前記番組と独立して受信される動的要因に基づいて行われることを特徴とする請求項4乃至6のいずれかに記載の方法。

【請求項8】

前記番組内の特徴を分析することによって、前記少なくとも1つの適切な置換用のセグメントの同期が計算されることを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載の方法。

【請求項9】

前記シーンの置換が適切か否かを判定すること、および少なくとも1つの適切な置換用のセグメントを識別して取得することは、視聴者のプリファレンスに基づいて行われることを特徴とする請求項1乃至8のいずれかに記載の方法。

【請求項10】

少なくとも1つの適切な置換用のセグメントを取得することは、以前受信した番組から前記少なくとも1つの適切な置換用のセグメントを抽出することを含むことを特徴とする請求項1乃至9のいずれかに記載の方法。

【請求項11】

前記番組を受信することは、前記番組を録画し、後にメモリから前記番組にアクセスすることを含み、前記番組内の前記シーンは、ある時点で録画された前記番組内にあった以前のシーンの少なくとも一部を置換するために使用した以前の置換用のセグメントを含むことを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載の方法。

【請求項12】

前記シーンを置換することは、前記番組内の前記シーンを上書きせずに、少なくとも1つの適切な置換用のセグメントで前記シーンを置換することを含むことを特徴とする請求項1乃至11のいずれかに記載の方法。

【請求項13】

前記番組をタイムシフトして、前記シーンより長いか短いかのいずれかである前記少なくとも1つの適切な置換用のセグメントを補うことをさらに含むことを特徴とする請求項1乃至12のいずれかに記載の方法。

【請求項14】

前記番組の再生中に前記シーンを動的に置換することをさらに含むことを特徴とする請求項1乃至13のいずれかに記載の方法。

【請求項15】

前記番組を生放送から再生している間に前記シーンを置換することをさらに含むことを特徴とする請求項1乃至14のいずれかに記載の方法。

【請求項16】

前記方法は前記番組から置換用のセグメントを抽出および記憶して、他の番組において次の置換に使用することをさらに含むことを特徴とする請求項1乃至15のいずれかに記載の方法。

【請求項17】

前記方法は前記番組を完全に置換せずに前記番組のある部分を変更することを含むことを特徴とする請求項1乃至16のいずれかに記載の方法。

【請求項18】

インテリジェントな識別および索引付けで番組をレンダリングするためのコンピュータプログラムであって、プロセッサに、

少なくともテレビシーンの開始部を含み前記テレビシーンの特徴の識別を参照する少なくとも第1の部分を含むタグと関連付けられたシーンを少なくとも1つ含む番組を受信すること、

前記第 1 の部分を暗号化されているときは前記番組を処理して前記第 1 の部分を解読し、前記識別特徴にアクセスすること、

前記番組を処理して前記シーンの置換または変更が適切か否かを判定すること、および、

前記シーンの置換または変更を適切と判定する際は、少なくとも 1 つの適切な置換用のセグメントを識別して取得し、前記シーンを前記少なくとも 1 つの適切な置換用のセグメントで置換または変更すること

を実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 19】

インテリジェントな識別および索引付けで番組をレンダリングする方法であって、

総てを視聴者に表示するよう意図された開始点、終了点、および少なくとも 1 つのキーフレームを有するセグメントを少なくとも 1 つ含む番組を受信すること、

前記番組を処理して前記番組のキーフレームおよび開始点を識別すること、および、

前記番組のセグメントを含むトリックモード機能を実行する命令を受信すると、前記番組に関連付けられた 1 つまたは複数のタグにより指定されたように、前記キーフレームに進んで前記キーフレームを表示すること

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 20】

前記セグメントの再生中の任意の点で前記番組を再生するユーザ入力を受信すると、前記セグメントの前記開始点へ戻り、前記セグメントの前記開始点の再生を開始することをさらに含むことを特徴とする請求項 19 に記載の方法。